

県内景況、景気後退続く

首都圏等緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止影響色濃く

～景況 DI 値は、前年同月比同水準のマイナス63.2～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 1月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比36.8ポイント低下のマイナス47.3、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス73.7。非製造業では、前月比57.9ポイント低下のマイナス68.4、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス52.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、DI 値前月比31.6ポイント低下のマイナス21.0、前年同月比同水準のマイナス5.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比36.8ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス63.1。非製造業では、前月比63.1ポイント低下のマイナス68.4、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス63.1。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス57.9。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比同水準のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス15.8。非製造業では、前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス31.6。

景況 製造業では、DI 値前月比26.3ポイント低下のマイナス42.1、前年同月比同水準のマイナス73.7。非製造業では、前月比42.1ポイント低下のマイナス57.9、前年同月比同水準のマイナス52.6。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比34.2ポイント低下のマイナス50.0、前年同月比同水準のマイナス63.2となった。製造業では、首都圏等への緊急事態宣言発令により、一般食料品、繊維工業、紙・加工品で売上高減少等影響を受けている。金属製品の鉄骨加工等では鋼材の値上げにより厳しい局面となっている。非製造業では、旅館・観光関連で、緊急事態宣言発令、GoTo トラベル一時停止の影響を大きく受けており、宿泊施設や飲食店をはじめ関連する食品製造業・卸売業等も打撃を受けている。県内景況は、首都圏等への緊急事態宣言発令、GoTo トラベル一時停止の影響が色濃く反映され、景気後退が続いており、今後、更なる影響が懸念される。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

1月の全国倒産は、件数506件で、1月としては2000年以降2番目の低水準となった。負債総額は912億5,800万円(負債総額1,000万円以上)で、1月としては2000年以降最小となった。不況型倒産の合計は391件、構成比は77.3%、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は321件、構成比は63.4%を占めた。

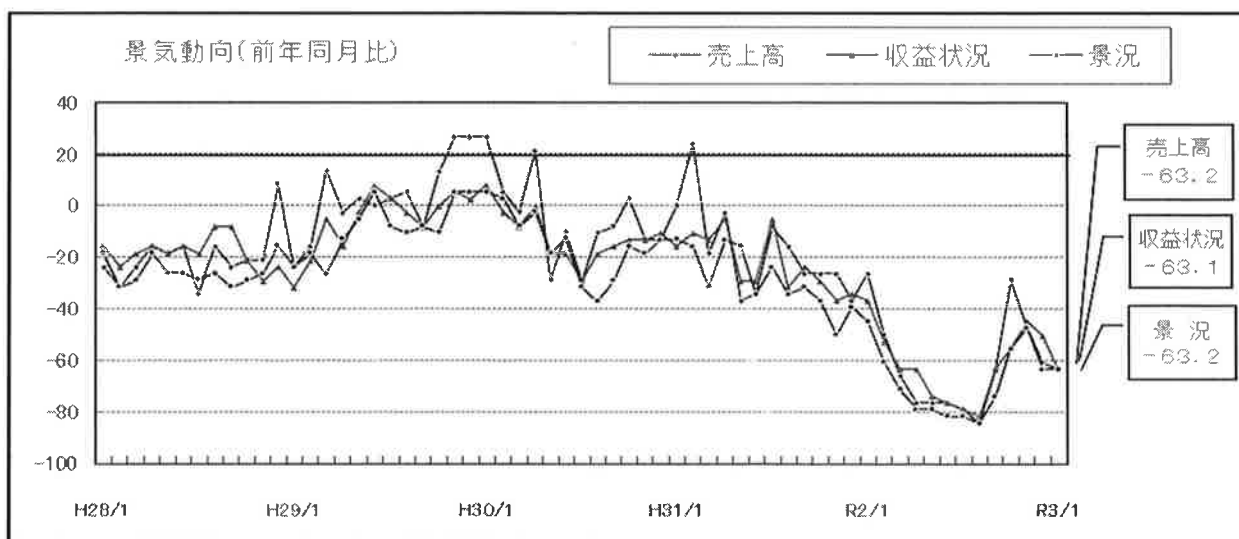
一方、1月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件(前月1件)、負債総額は1億9,900万円(前月2,000万円)で、業種別では、小売業が2件、建設業が1件、主因別では、すべて販売不振となっている。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報12月分」)

鳥取県の12月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.25倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.06倍)で、前月より0.03ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.25倍、米子所1.46倍、倉吉所1.51倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.67倍(季節調整値)で、前月より0.34ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比14.6%減少し、有効求人数は21.7%の減少となった。産業別に前年同月で比較すると、運輸業・郵便業(32.7%)、卸売業・小売業(21.3%)、公務・その他(21.3%)、製造業(13.4%)と、ほとんどの業種で減少した。

新規求職者数は、前年同月比17.8%減少し、有効求職者数は7.0%増加した。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.42倍で、前年同月を0.64ポイント下回った。新規求人数は前年同月を19.2%下回った。



1月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	5.3%	52.6%	-47.3 -36.8	5.3%	73.7%	-68.4 -57.9	5.3%	63.2%	-57.9 -47.4
(2)在庫数量	10.5%	5.3%	5.2 15.7	16.7%	33.3%	-16.6 -16.6	12.9%	16.1%	-3.2 3.2
(3)販売価格	10.5%	0.0%	10.5 10.5	5.3%	26.3%	-21.0 -31.6	7.9%	13.2%	-5.3 -10.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	0.0%	7.9%	-7.9 -7.9
(5)収益状況	5.3%	47.4%	-42.1 -36.8	0.0%	68.4%	-68.4 -63.1	2.6%	57.9%	-55.3 -50.1
(6)資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	0.0%	36.8%	-36.8 -21.0	0.0%	28.9%	-28.9 -21.0
(7)設備操業度	0.0%	42.1%	-42.1 -42.1						
(8)雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -2.6
(9)景況	0.0%	42.1%	-42.1 -26.3	0.0%	57.9%	-57.9 -42.1	0.0%	50.0%	-50.0 -34.2

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	0.0%	73.7%	-73.7 -0.1	15.8%	68.4%	-52.6 -5.2	7.9%	71.1%	-63.2 -2.6
(2)在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 5.3	8.3%	41.7%	-33.4 -25.1	6.5%	29.0%	-22.5 6.4
(3)販売価格	5.3%	21.1%	-15.8 5.2	15.8%	21.1%	-5.3 0.0	10.5%	21.1%	-10.6 2.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 5.3	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	0.0%	5.3%	-5.3 5.2
(5)収益状況	5.3%	68.4%	-63.1 -5.2	5.3%	68.4%	-63.1 -21.0	5.3%	68.4%	-63.1 -13.1
(6)資金繰り	0.0%	31.6%	-31.6 -5.3	0.0%	57.9%	-57.9 -15.8	0.0%	44.7%	-44.7 -10.5
(7)設備操業度	0.0%	52.6%	-52.6 -10.5						
(8)雇用人員	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	0.0%	31.6%	-31.6 0.0	0.0%	23.7%	-23.7 0.0
(9)景況	0.0%	73.7%	-73.7 0.0	5.3%	57.9%	-52.6 0.0	2.6%	65.8%	-63.2 0.0

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ GoTo トラベル一時停止及び首都圏等への緊急事態宣言の発令により、取引先のホテル・旅館や飲食店の休業、営業時短で納入が激減した。そのため一部事業所が一時帰休を再開するなど大変厳しい状況。

醬 油⇒ 1月は例年前月比で売上減少する月であるが、緊急事態宣言の影響を受け、出荷量が大きく落ち込んでいる。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、緊急事態宣言の影響により、特に商品説明などの接客販売が大きなツールとなっている商品ブランドの売上が減少している。インターネットやカタログ等の商品を受注していくしかないが、販売価格が安く厳しい状況。座席シート縫製では、コロナ禍の影響により先行き不透明。

ニット製品⇒ 緊急事態宣言を受けて、衣料品小売の冬物商戦も積み残しが発生、消費者の衣料品需要は、テレワーク等により室内用衣料をインターネット等で購入する傾向が定着し、全体の消費量も依然縮小しており、春夏物商品の生産は低い水準で止まっている。

【家具装備品】

⇒ 1月後半から持ち直しの動きがみられたが、大雪の影響が顕著にみられ、店舗への来店者数も減少し、従業員の安全確保にも配慮した。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で減少したが、製材品の生産量は不変。合板の生産量も前月比で不変。住宅着工戸数の動きは弱く、製材品の動きに活発さはない。出材は少なく原木価格は強含みだが、需要の低迷で製品価格への転嫁は難しい。プレカット加工の稼働率は、前月比、前年同月比ともに30%減少。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 緊急事態宣言が発令され、例年、都市部で行われていた商品展示会等販売促進につながる営業活動ができなくなっている。まだまだ先が見通せないため、厳しい状況が続く見込み。

【印 刷】

⇒ 年度末に向けた受注は増えているものの、学校文集、卒業文集のページ数や内容が大幅に縮小され、例年の忙しさはない。新年度の受注等がまったく見通せず、不安感が漂っている。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 1月の生コン出荷量は、前月比60%、前年同月比64%。東部・中部では受注残が少なく、積雪による工事の遅れが出荷を妨げたことも

一因。コロナ禍の影響は間接的に民間大型工事の延期等が見受けられる。国の予算もコロナ対策を重点としており、地方への予算配分に気がかりな点がある。当県の国土強靱化の推進に期待をしている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、西部の物件が豊富で仕事量も多いが、東部・中部は地元物件が少なく、県外物件で仕事量を確保している。電炉メーカーは、世界的な鉄不足で強気な値上げを進めており、型鋼の価格上昇と元請けの受注競争により、収益面での影響が厳しくなっている。機械加工は、県東部の得意先の休業（雇用調整助成金申請）が続いている。多忙な得意先もあるが差が大きく、スポット的な受注があっても、長期的な受注には繋がっていない。

鉄骨加工⇒ 12月以降、鋼材の値上げ発表が大きなインパクトになっており、工事契約が非常に難しい局面となっている。4月以降の物件交渉が多くなっているが、鋼材商社も単価の入れどころが難しく回答が出ない状況。電炉メーカーの値上げの影響を受け、高炉メーカーも次々と値上げ発表をしており、鋼板、軽量形鋼なども15,000～20,000円/トンの値上げが進む中、現在受注済みの案件、今後の見積案件に大きな影響を与えることが鮮明になっている。

金属熱処理⇒ 第3四半期に入って順調に回復をしてきている。1月は上位顧客の受注増加が顕著であったため、顧客全体の回復とは言い難いが、全体としては稼働日数を考慮しても順調。前年同月比では、9月から4ヶ月連続で僅かに前年度を上回っていたが、1月においてはほぼ同程度の受注量にとどまった。多くの顧客は受注状況がコロナ不況以前までは回復していない。中京地区が自動車を中心に好調とのことであるが、他の地区では徐々に回復してきたもののここに来て頭打ちの状況。

【電気機械器具】

⇒ 車載関係は部材調達の影響が出ている。バッテリー関係は昨年より好調を保っている。大手電機メーカーが動き始めたが、市場に部材供給の問題がある。年度末までの生産計画は上向いてきたが材料調達の問題で先行き不透明。人員確保の問題も残る。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。青果関係では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加。観光などサービス業の低調や暖冬が大きく影響している。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。緊急事態宣言やGoToトラベル一時停止が大きく影響した。

中部地区⇒ 売上高は前月比で減少、前年同月比で増加。営業職の補充要員を募集するも、コロナ禍のため応募の問合せはない。

西部地区⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 巻き網漁は、時化が多く近年にない不漁が続いたが、大型船団がマサバを漁獲し入港したことで総水揚量は昨年を若干上回る結果となった。鮮魚相場は低迷し、冷蔵庫備蓄となり活発な取引に至っていない。松葉ガニ漁も時化のため不安定な水揚げではあったが、コロナ禍の緊急事態宣言下の末端の冷え込みから比較的安価で推移した。紅ズワイガニ消費動向の先行き不安から大きな変動はなかった。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、中旬まで高止まりしていたが、下旬から全国的に急落する相場展開となった。古紙市況は安値安定の状態。非鉄金属は、銅、アルミが先行き弱含みで、ステンレスは先高観を残して月末を迎えた。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、1月は大雪に見舞われ、また正月休みも短く厳しい初売り状況となった。飲食店は新年会などの団体が入らず、GoToキャンペーンも止まり県外客もなく厳しい状況。飲食店や宿泊施設に卸す食材、酒類を生業とする業種もかなりの打撃。コロナ新規感染者の情報が出るたびに人出が減り、商店街は振り回されている状況。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、全国で新型コロナウイルス感染拡大が止まらない影響で、戻りつつあった観光客の動きがストップしてしまい、市民の動きも止まってしまった。大変厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、1月は、大雪や介護施設及び飲食店でのクラスター発生の影響を受けて、来街者は極めて減少した。恒例行事「七草粥サービス」もコロナ禍により初めて中止せざるを得なかった。

境港市の水産物小売は、緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止で、客足が一気に減少。12月には例年以上に松葉ガニの価格が高騰したが、1月に入り急降下し、低価格のままの水準が続いている。観光客の減少により、店舗も営業時間を短縮せざるを得ず、仕入れや人件費を抑えることで窮状をしのいでいる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止により、観光客は激減した。前月比、前年同月比ともに売上高は大幅に減少し、厳しい経営状況である。

米子市のホテル・旅館では、緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止と降雪の影響があり、キャンセルが多発し、宿泊客、日帰客ともに大幅減少かつ予約もほとんどないことから、前月比、前年同月比ともに売上高はじめ全項にわたり大幅減少となった。2月末日までは、ほぼ全旅館が休業に入っており非常に厳しい状況が続いている。

三朝温泉では、緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止により、消費者の旅行マインドの低下が影響し悪化傾向にあり、1月以降さらに悪くな

っている。

大山では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少した。

【自動車整備業】

⇒ 新車販売実績は、普通乗用車が前年同月比約10%、軽乗用車が約6%、軽貨物車が約10%の増加、普通貨物車は約16%の減少となった。継続検査を含む中古車の実績は、普通車が約16%、軽自動車が約2%の減少。新車が増加し、継続・中古車の減少という対前年の実績から、消費税増税とコロナ禍の影響が薄れてきた感がある。

【建設業】

⇒ 12月の県内公共工事発注（西日本建設業保証取扱）は、請負金額32億円（前年同月比65%減）、件数97件（同28%減）でいずれも大幅に減少し、年度累計（4月～12月）でも、請負金額834億円（前年同月比9.3%減）、件数1,522件（同13%減）となり、3カ月連続で金額、件数ともに減少する結果となった。設備投資も単月で大幅減となり、マイナス基調が継続。住宅建設でも、持家系が上振れる一方、貸家系は2カ月連続の前年比マイナス。公共投資にも足踏みが見られ、全体の基調としては弱めの動きが続いている。

12月の鳥取県新設住宅着工戸数は170戸（持家160戸、貸家10戸）で、前月比13%減少、前年同月比27%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 正月休みによる稼働日数の減少から製造業などの出荷量は減少し、荷動きは低調に推移した。復路荷物の荷動きも減少し、空車で帰る車両も多く非効率な運行が続いている。売上高は、前月比、前年同月比ともに減少したほか、燃料価格も値上がりが続いており、収益状況も厳しい。

西部地区⇒ 緊急事態宣言を受け、主に関西圏からの往路荷物が激減した。燃料価格も依然として高騰し続けており、OPECプラスが過去最大規模の協調減産を実施中であり、サウジアラビアも独自で減産規模を拡大している。2月以降の価格も現時点では判断がつかない。緊急事態宣言の延長も栃木県以外は3月まで延長されるなど景況も一段と不透明である。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・衣料品の国内生産キャパを守り、国内就労者の雇用確保を最優先に政策を立案して頂きたい。【ニット製品製造業】
- ・新型コロナ対策資金、助成金の充実。外国人技能実習生・特定技能生がスムーズに入国できる仕組み。【電子部品製造業】
- ・緊急事態宣言以外の都道府県にも支援策を出してほしい。【商店街】
- ・コロナ禍で、観光業は大打撃を受けており、長期的な企業存続の施策を願う。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-42.1	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	-5.2
	非製造業	-68.4	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	0.0
	全業種	-55.3	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	-2.6
在庫数量	製造業	-10.5	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	15.7
	非製造業	-25.0	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.4
	全業種	-16.1	-16.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	12.9
販売価格	製造業	-10.5	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	21.0
	非製造業	-15.8	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-5.2
	全業種	-13.2	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	7.9
取引条件	製造業	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5
	非製造業	0.0	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-15.8
	全業種	-5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-2.6
収益状況	製造業	-42.1	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	0.0
	非製造業	-52.6	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-15.8
	全業種	-47.4	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-7.9
資金繰り	製造業	-31.6	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	10.5
	非製造業	-26.3	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-10.5
	全業種	-28.9	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	0.0
設備操業度	製造業	-15.8	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-26.3
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.2
	非製造業	-26.3	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	10.5
	全業種	-18.5	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	8.0
景況	製造業	-52.6	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	10.5
	非製造業	-57.9	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	0.0
	全業種	-55.3	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	5.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-15.8	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-57.9
	非製造業	-36.8	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-15.8
	全業種	-26.3	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-36.9
在庫数量	製造業	-15.8	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	0.0
	非製造業	-25.0	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-8.4
	全業種	-19.4	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-3.1
販売価格	製造業	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-5.3
	非製造業	-15.8	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	10.5
	全業種	-13.1	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	2.5
取引条件	製造業	-10.5	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	10.5
	非製造業	-5.3	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-5.2
	全業種	-7.9	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	2.6
収益状況	製造業	-47.3	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-15.8
	非製造業	-26.3	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-36.8
	全業種	-36.8	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-26.3
資金繰り	製造業	-26.8	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-4.8
	非製造業	-15.8	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-42.1
	全業種	-26.3	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-18.4
設備操業度	製造業	-5.2	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-47.4
雇用人員	製造業	5.3	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1
	非製造業	-21.1	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-10.5
	全業種	-7.9	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-15.8
景況	製造業	-52.6	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-21.1
	非製造業	-36.8	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-15.8
	全業種	-44.8	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-18.4

情報連絡員報告総括表(令和3年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
食料品	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
繊維工業	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	0	2	1	
木材・木製品	0	2	2	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	1	3	0	4	0	0	2	2	0	4	0	0	0	0	3	1
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0
化学ゴム																													
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0
一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	1	2	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
輸送用機器																													
その他																													
19	1	8	10	2	16	1	2	17	0	0	19	0	1	9	9	0	15	4	0	11	8	0	18	1	0	11	8	0	
100%	5.3%	42.1%	52.6%	10.5%	84.2%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	47.4%	47.4%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%	
非	0	3	3	1	4	1	1	5	0	0	6	0	0	5	1	0	6	0				0	5	1	0	6	0	0	
小売業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	0	1	0
商店街	0	0	4	1	1	2	0	2	2	0	2	0	2	0	4	0	0	4				0	3	1	0	0	4	0	
サービス業	1	0	4				0	3	2	0	4	1	0	0	5	0	2	3				0	4	1	0	1	4	0	
建設業	0	1	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1	0	0
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	2	0				0	2	0	0	0	0	2	0
その他																													
19	1	4	14	2	5	4	1	13	5	0	16	3	0	6	13	0	12	7				0	16	3	0	8	11	0	
100%	5.3%	21.1%	73.7%	16.7%	41.7%	33.3%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	31.6%	68.4%	0.0%	63.2%	33.8%				0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	42.1%	57.9%	0.0%	
38	2	12	24	4	21	5	3	30	5	0	35	3	1	15	22	0	27	11				0	34	4	0	19	19	0	
100%	5.3%	31.6%	63.2%	12.9%	67.7%	16.1%	7.9%	78.9%	13.2%	0.0%	92.1%	7.9%	2.6%	39.5%	57.9%	0.0%	71.1%	23.9%				0.0%	89.5%	10.5%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

情報連絡員報告総括表(令和3年1月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	0	1	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1		
繊維工業	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	0	0	3		
木材・木製品	0	1	3	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	2	2	0	4	0	0	0	2	2		
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1		
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1	1		
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1		
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	2		
一般機器	0	1	2	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	0	3	0	0	0	2	1	0	1	0	2		
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1		
輸送用機器																											
その他																											
19	0	5	14	1	14	4	1	14	4	0	19	0	1	5	13	0	13	6	0	9	10	0	16	3	0	5	14
100%	0.0%	26.3%	73.7%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	26.3%	68.4%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	26.3%	73.7%
非 製 業	2	3	1	0	4	2	1	4	1	0	6	0	0	5	1	0	5	1	0	6	0	0	6	0	0	5	1
小売業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
商店街	0	0	4	1	1	2	0	2	2	0	2	0	0	0	4	0	0	4	0	1	3	0	1	3	0	4	
サービス業	1	0	4				1	4	0	0	5	0	1	0	4	0	1	4	0	3	2	1	1	3	0	3	
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	
その他																											
19	3	3	13	1	5	5	3	12	4	0	17	2	1	5	13	0	8	11	0	13	6	1	7	11	0		
100%	15.8%	15.8%	68.4%	8.3%	41.7%	41.7%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	26.3%	68.4%	0.0%	42.1%	57.9%	0.0%	68.4%	31.6%	5.3%	36.8%	57.9%	0.0%		
38	3	8	27	2	19	9	4	26	8	0	36	2	2	10	26	0	21	17	0	9	10	0	29	9	1	12	25
100%	7.9%	21.1%	71.1%	6.5%	61.3%	29.0%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	26.3%	68.4%	0.0%	55.3%	44.7%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	76.3%	23.7%	2.6%	31.6%	65.8%